



長崎県・五島列島

OJIKATA TOWN

小値賀町



写真中央が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つ、野首島の集落跡(野首集落跡)

©株式会社 昭和堂

世界文化遺産登録 野崎島の集落跡

長崎県五島列島の北端部に位置する小値賀町は、大小17の島で構成される火山活動によって生じた珍しい群島です。

今年6月に小値賀町野崎島の集落跡が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つとして世界文化遺産に認定されました。

寄稿…小値賀町



世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連資産」の一つ「野崎島の集落跡」がある野崎島は、五島列島の北東部に位置する細長い島です。

19世紀、外海から五島列島に渡った潜伏キリシタンたちは、沖ノ神嶋神社の神官と氏子しか住んでいなかった野崎島で、神社の氏子を装うことで信仰を守りました。島の中央部の野首集落と、南側の舟森集落には、潜伏キリシタンによつて集落がつくられました。信仰を心のより所に貧困や苦役に耐え、ついに1873年、長い禁教が解かれ信仰の自由が認められました。

1950年代には、一時期650人程の住人がいましたが、高度経済成長期の集団移住などで人口減少がはじまり、1990年代には無人となりました。今では野生の鹿が約400頭生息しています。

沖ノ神嶋神社

704年に小値賀島近浦とこの地に分けて祀られたと伝わる古社で、五島列島一円に暮らした氏子から崇敬を集めていました。外海地域の潜伏キリシタンは神社の氏子を装うことで野崎島に入植し、密かにキリシタン信仰を継承しました。





野首集落 潜伏キリシタンの指導者屋敷跡・初代野首教会堂跡

禁教期にあった指導者屋敷ではキリシタン信仰にもとづく様々な行事が行われました。解禁後1882年に野首ではじめての教会堂が建立されました。



沖ノ神嶋神社 神官屋敷跡の遥拝所の内部

祭壇は禁教期である1823年に造られたことがわかっています。潜伏キリシタンが拝んだ当時の姿をそのまま留めています。



沖ノ神嶋神社の神官屋敷跡と遥拝所

表向きは神道の氏子となった潜伏キリシタンが、悪天候で直接参拝できない時に遥拝所を通して神社を拝んだ場所です。



舟森集落 潜伏キリシタン墓地

舟森集落の潜伏キリシタンの墓地。過去の発掘調査では人骨が発見され、顔の向きなどの埋葬方法の特徴から潜伏キリシタン墓と特定されました。



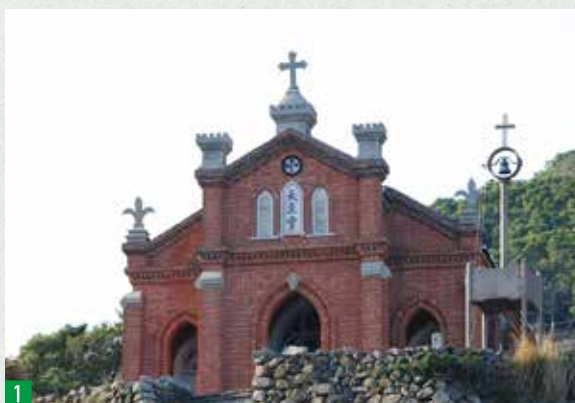
舟森集落 潜伏キリシタン指導者屋敷跡

禁教期にあった指導者屋敷ではキリシタン信仰にもとづく様々な行事が行われました。



瀬戸脇教会堂跡(舟森集落跡)

解禁後の1881年に教会堂が建立された場所で、舟森の潜伏キリシタンの伝統の終焉を示す場所です。



関連資産

1 旧野首教会

1908年にカトリック教会堂建築で著名な鉄川与助による設計、施工により完成した煉瓦積みの教会堂です。野首集落においては3代目の教会堂であり、内部に祀られた脇祭壇は1890年に建てられた2代目教会のものであることがわかっています。

2 舟森集落 カトリック共同墓地

解禁後にカトリックへと復帰した信徒が眠る墓地。かつて潜伏キリシタンだった人々も多く眠っています。

舟森集落 カトリック共同墓地 指導者の墓石

潜伏キリシタン時代は水方として、解禁後はカトリックへの復活を助ける伝道師として活動した人の墓石。

3 野首集落 カトリック共同墓地

解禁後にカトリックへと復帰した信徒が眠る墓地。かつて潜伏キリシタンだった人々も多く眠っています。

野首集落 カトリック共同墓地 初期移住者の墓石

19世紀前半に野首へ入植した初期移住者の墓石。



小値賀町を旅する



大小17の島からなる小値賀町は、懐かしい日本の原風景が残る島として、日本で最も美しい村連合に加盟しています。

風光明媚な場所が多く、野崎島には白い砂浜とコバルトブルーの海が美しい野首海岸があります。

また、小値賀島は海底火山の溶岩が作り出した島で平地が多く、ミネラル分豊富な赤土からは豊かな作物が採れます。

リゾート施設もコンビニもない島ですが、小さな島だからこそ守られた自然と文化があります。島の人たちは、自然と共存し、自給自足や物々交換をしながら、のびのびと暮らしています。

人と人の温かい交流がある小値賀町でゆったりとした島時間を過ごしてみませんか。



小値賀本土の観光スポット



3



4



5



6



7



8



9



10



11

1.2.野崎島 海岸 3.小値賀島で100年続く活版印刷 4.納島アコウの木 5.赤浜
6.小値賀島の魚 7.夏は海水浴客で賑わう「柿の浜海水浴場」 8.小値賀町歴史民俗資料館 9.夕陽 10.450mに渡って緑の並木が続く「姫の松原」 11.火山の噴火口のひとつが、幾万年の海蝕により円形の崖になったといわれる景勝地「五両だき」
12.斑大橋 13.小値賀の牛



12



13

昔の野崎島の暮らし



小学校建設



体育授業



舟森に停着する郵便船



1.児童生徒による「未来へのメッセージ」 2.旧野首教会 3.野崎島 海岸



2



3



1

過去を現在に。そして未来へ

6月29日、30日の2日間、小値賀町離島開発総合センターで、世界遺産委員会の様子を中継したパブリックビューイングと世界文化遺産登録記念セミナーが開催されました。

セミナーでは、くす玉割りや世界遺産登録記念合唱団（聖歌隊）によるコンサートの他、児童生徒による「未来へのメッセージ」があり、「今後、世界遺産について学び続け、胸をはって小値賀島や野崎島のことを発信していきたい」と心強い言葉が聞かれました。

登録がゴールではなく、ここからがスタートとなります。町民一丸となって頑張つてまいります。

ICT機器を活用した授業

小値賀町ではICT機器を活用した授業に取り組んでいます。このことは、効果的に授業の目標を達成させ、児童生徒の学力、情報活用能力等の向上に繋がることが期待できます。

未来の小値賀町を担う子どもたちに最先端の授業を受けてもらうとともに、郷土愛を育み、小値賀町に誇りを持つてくれることを期待しています。



1



3



2

1.電子黒板を活用した授業 2.タブレットを活用した授業 3.タブレットは、全児童生徒に1人1台配置



左から小値賀町 西 浩三町長、一釣支店長(親和銀行)

遊びに来てっチカッ



小値賀町マスコットキャラクター
「ちかまる君」

親和銀行と小値賀町は、互いに「1島1町1銀行」の存在として連携強化を図っております。親和銀行小値賀支店長と小値賀町長は定例的に面談機会を設け、小値賀町の将来に向けた課題や施策、小値賀町を資金面から支える親和銀行への協力体制構築策に至るまで幅広い視線で意見交換・情報交換を行い、地方創生に向けて連携を深めています。

小値賀町×親和銀行



小値賀町へのアクセス



小値賀町参加イベント



昨年11月2日、3日、福岡銀行本店広場においてFFG設立10周年を記念したイベント「NAGASAKI 離島フェア」を開催しました。